

## 製品安全データシート

### 【1. 製品及び会社情報】

|       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 製品名   | モノタロウ 次亜塩素酸分子水                  |
| 会社名   | 株式会社MonotaRO                    |
| 所在地   | 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183 リベル3階 |
| 担当者名  | 商品お問合せ窓口                        |
| 電話番号  | 0120-443-509                    |
| FAX番号 | 0120-289-888                    |
| 緊急連絡先 | 所在地と同じ                          |
| 整理番号  | M240815                         |

### 【2. 危険有害性の要約】

#### GHS分類

|                       |          |
|-----------------------|----------|
| 物理化学的危険性              |          |
| 金属腐食性物質               | : 分類できない |
| 健康に対する有害性             |          |
| 急性毒性（経口）              | : 区分外    |
| 皮膚腐食性／刺激性             | : 区分外    |
| 眼に対する重篤な損傷性<br>／眼刺激性  | : 区分外    |
| 呼吸器感作性                | : 区分外    |
| 皮膚感作性                 | : 分類できない |
| 生殖細胞変異原性              | : 分類できない |
| 発がん性                  | : 分類できない |
| 生殖毒性                  | : 分類できない |
| 特定標的臓器／全身毒性<br>（単回暴露） | : 区分外    |
| 特定標的臓器／全身毒性<br>（反復暴露） | : 区分外    |
| 環境に対する有害性             |          |
| 水生環境有害性（急性）           | : 区分外    |
| 水生環境有害性（慢性）           | : 区分外    |

#### GHSラベル要素

|            |      |
|------------|------|
| 絵表示またはシンボル | : なし |
| 注意喚起語      | : なし |
| 危険有害性情報    | : なし |

#### 【安全対策】

取扱い時は、適切な保護具を着用すること。  
取扱後は良く手を洗う事。

#### 【対応】

飲み込んだ場合、気分が悪い時は医師の手当を受ける事。  
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸し易い  
場所で休息させる事。  
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗浄する事。  
眼に入った場合、十分な水で注意深く洗浄する事。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は  
外し、更に数分間洗浄する事。  
速やかに医師の手当を受ける事。

【保 管】

施錠して密閉容器中に保管する事。

【廃 棄】

内容物／容器を国、都道府県、市町村の関連法規・法令を  
遵守して廃棄する事。

【3. 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
製品の用途 : 除菌剤  
成分及び含有量 : 水  
: 次亜塩素酸

【4. 応急措置】

吸入した場合 : 分解して発生した塩素ガスを吸入した場合は、被災者を直ちに空気  
の新鮮な場所に移し、次のような処置をする。  
咳が出る程度の時は、新鮮な空気の風通しの良い場所で体を楽に  
して休息させる。  
塩素ガスで眼を痛めた時は、直ちに水道水で少なくとも 15 分間以  
上洗眼し、医師の診断を受ける。  
重症の場合は、直ちに医師の診断を受け、その指示に従う。

皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染した衣服、靴及び靴下等を脱がせ、触れた部分に多量の  
水で最低 15 分間洗浄する。速やかに医師の手当を受ける。

眼に入った場合 : 直ちに多量の清浄な水で最低 15 分間以上洗眼した後、直ちに眼科  
医の手当を受ける。  
洗顔の際、まぶたを指で良く開いて眼の隅々まで水が良く行渡るよ  
うに洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外  
し、更に数分間洗浄する事。

飲み込んだ場合 : 清浄な水で口腔を洗浄し、すぐに吐き出させる。  
速やかに医師の手当を受ける。

【5. 火災時の措置】

消火剤 : 大量の水、水溶性液体用泡消火剤、砂、霧状水等

特有の危険有害性 : 酸との接触により、有害な塩素ガスを発生する可能性があるため、  
炭酸ガス、酸性の粉末消化剤は避ける。

特有の消化方法 : 消化作業は、可能な限り風上から行う。周囲の設備等に散水して  
冷却する。関係者以外は、安全な場所に退避させる。

消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護衣、保護手袋、保護眼鏡、保護面等を  
着用する。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終了するまで十分に換気する。  
作業時は必ず保護衣、保護手袋、保護眼鏡、保護面等を着用し、  
必要に応じ、他の保護具も併用する。

環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や公共用水域等へ流出させ、環境を汚染しないように  
注意する。

除去方法 : 少量の場合には、吸着剤（おがくず、砂、ウエス等）に吸着させて取り除き、残りをウエス、雑巾等で拭き取る。  
 大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、漏出物を安全な場所に導いてからドラム缶等に回収する。

## 【 7. 取扱い及び保管上の注意 】

### 取扱い

技術的対策 : 適切な換気を行い、作業時は、適切な保護衣、保護手袋、保護眼鏡、保護面等を着用する。

注意事項 : 取扱いは、換気の良い場所で行う。  
 【2. 危険有害性の要約】を熟知し、人体との接触を避ける事。

安全取扱い注意事項 : 作業中に温度が上昇したり、重金属類の混入があると分解し、酸素または塩素ガスを発生する。  
 酸と接触したり、PH が低下すると塩素ガスの発生が起きるので注意が必要である。  
 適切な保護衣、保護手袋、保護眼鏡、保護面等を着用する。  
 取扱い後は、手や顔等を良く洗い、うがいをする。

### 保管

適切な保管場所 : 直射日光を避け、品質維持の為、20℃以下に保ち貯蔵するのが望ましい。  
 重金属類（コバルト、ニッケル、クロム、銅、鉄等）が存在すると触媒となって分解を促進する為、貯蔵容器内にこれらの金属類が混入しないようにする。  
 貯槽は、樹脂製または鉄板製のタンクの内側に耐食性材料でライニングまたはコーティングしたもの、或いは耐食性材料で製作したものを使用する。  
 腐食性があるので鉄製の容器は使用しない。  
 チタン或いは硬質塩化ビニール等の樹脂系のものが良い。  
 ゴム製のものは、長期的には膨潤するものもあるので、注意を要する。

安全な容器包装材料 : 金属類、天然繊維の多くを侵す。  
 耐食性があるので、鉄製のものは使用出来ない。  
 塩化ビニール、ポリエチレン、ポリプロピレン、PTFE、ガラス等を使用する。

## 【 8. 暴露防止及び保護措置 】

設備対策 : 局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

管理濃度 : 設定無し

許容濃度 : 設定無し

保護具

呼吸器用保護具 : 通常の手扱いは特に必要無し。

手の保護具 : 保護手袋

目の保護具 : 安全ゴーグル、顔面シールド、保護眼鏡

皮膚や身体の保護具 : 長袖作業服

適切な衛生対策 : 取扱い後は、手や顔等を良く洗い、うがいをする。

【 9. 物理的及び化学的性質 】

外観・形状 : 無色透明液体  
PH／原液 (25℃) : 6.0 ～ 6.5  
有効塩素 (ppm) : 200 ～ 220

【 10. 安定性及び反応性 】

安定性 : 熱、光、空気（二酸化炭素）、金属等に対して極めて不安定で、  
放置すると徐々に分解し、有効塩素を失う。  
危険有害反応可能性 : 多数の金属（鉄、銅、アルミニウム等）、天然繊維を腐食する。  
避けるべき条件 : 日光、熱、空気（二酸化炭素）  
避けるべき材料 : 腐食性があるので、鉄製の容器は使用しない。  
混触危険物質 : 酸、金属類（鉄、銅、アルミニウム等）  
危険有害な分解生成物 : 塩素ガス

【 11. 有害性情報 】

急性毒性

経口：ラット LD<sub>50</sub> 345,000mg/kg（計算値）  
経皮：腐食性があり、皮膚、眼、粘膜を激しく刺激する。  
吸入：ミストを吸入すると気道粘膜を刺激する。

呼吸器感作性 : 資料なし  
皮膚感作性 : 資料なし  
生殖細胞変異原性 : 資料なし  
発癌性 : 資料なし  
生殖毒性 : 資料なし  
特定標的臓器／全身毒性  
(単回暴露) : 資料なし  
特定標的臓器／全身毒性  
(反復暴露) : 資料なし

【 12. 環境影響情報 】

生態毒性

水生環境急性有害性 : 資料なし  
水生環境慢性有害性 : 資料なし  
残留性／分解性 : 資料なし  
生体蓄積性 : 資料なし  
土壌中の移動性 : 資料なし

【 13. 廃棄上の注意 】

残余廃棄物

: 【 7. 取扱い及び保管上の注意 】 の項を参照。  
焼却する場合、国、都道府県、市町村の関連法規・法令を遵守して  
廃棄する。  
: 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた法定廃棄物処理業者  
へ委託処理する。

汚染容器・包装

: 空の汚染容器・包装を廃棄する場合は、内容物を除去後に都道府県  
知事の許可を受けた法定廃棄物処理業者へ委託処理する。

【 1 4. 輸送時の注意 】

|                    |                                                                                         |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 国内法規制              | : 該当法令なし                                                                                |
| 国連分類               | : 該当しない                                                                                 |
| 国連番号               | : 該当しない                                                                                 |
| 輸送の特定の安全対策<br>及び条件 | : 堅牢で適切な密閉容器に入れ、輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等<br>が無い事を確認する。<br>荷崩れの防止を確実にいき、害等法規に従い、包装、表示、輸送を<br>行う。 |

【 1 5. 適用法令 】

|                     |         |
|---------------------|---------|
| 国内適用法               |         |
| 化審法                 | : 該当しない |
| （特定化学物質、<br>監視化学物質） | : 該当しない |
| （新規化学物質）            | : 申出済み  |
| 消防法                 | : 該当しない |
| 労働安全衛生法             | : 該当しない |
| 化管法（PRTR 法）         | : 該当しない |
| 毒物及び劇物取締法           | : 該当しない |

【 注 意 】

記載内容は、当社が現時点で入手出来た最新の資料や情報に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。  
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上でお取扱い願います。  
総ての化学製品には未知の有害性があり得る為に、取扱いには細心の注意が必要です。  
ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定していただきますようお願い申し上げます。  
本製品安全データシートは、新しい情報や知見を入手した時や、法令が改正された場合には追加、訂正される事があります。